

東京放射線

2017年10月号

Vol.64 No.754



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<http://www.tart.jp/>

報告	お知らせ	会告	巻頭言
厚生労働大臣表彰 第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄） 平成28年度 特別功労賞・功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者 第78回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会報告 研修会等申込書 登録事項変更届	平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	地球環境保全活動 荒川クリーンエイド2017@北区荒川岩淵閑緑地 第61回きめこまかな生涯教育 第16回城北支部研修会 平成29年度城南支部研修会	進歩とは 篠原健一

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2017年 OCT CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 進歩とは	会長 篠原健一 4
会告1 平成29年度城南支部研修会	城南支部委員会 5
会告2 第16回城北支部研修会	城北支部委員会 6
会告3 第61回きめこまかな生涯教育	学術教育委員会 7
会告4 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動 ＜荒川クリーンエイド2017@北区 荒川岩淵関緑地＞	8
会告5 第73回・74回日暮里塾ワンコインセミナー	学術教育委員会 9
会告6 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	10
会告7 第20回メディカルマネジメント研修会	SR推進委員会 12
会告8 日本診療放射線技師会の永年勤続表彰について	渉外委員会 13
お知らせ1 平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正	SR推進委員会 14
お知らせ2 平成29年度第3地区研修会	第3地区委員会 15
お知らせ3 平成29年度第11地区研修会	第11地区委員会 16
お知らせ4 ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について	17
厚生労働大臣表彰	18
第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)	20
平成28年度 特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞受賞者	31
こ え	
・第2地区研修会に参加して	叶 将也 32
・第2地区研修会を振り返って	杉 智子 33
・平成29年度城東支部研修会に参加して	田川雅人 34
・城東支部研修会に参加して	長坂 純 35
・平成29年度城東支部研修会に参加して	茂木大哉 36
・平成29年度城東支部研修会に参加して	藤井脩平 37
第78回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会報告	代議員 白木 尚 38
パイプライン	
・超音波画像研究会 第14回ワンバイツー講習会(腹部超音波実技講習会)	39
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田	40
研修会等申込書	42
登録事項変更届	43
平成29年度7・8月期会員動向	45

Column & Information

・東放技は積極的に参加します	11
・イエローケーキ	30
・学術講演会・研修会等の開催予定	41

巻頭言



進歩とは

会長 篠原健一

発明・新技術・技術革新だけでなく、イノベーションには「新しい切り口」「新しい活用法（を創造する）」という意味もあり、社会的な仕組みまで変革させる動きも含む。われわれ診療放射線技師の業態（業務範囲）もさまざまな点で進歩・変化してきた。1895年にレントゲン博士（Wilhelm Conrad Röntgen）がエックス線を発見して始まったエックス線写真学が、現在のデジタル画像技術や電子ファイリングなどへ進歩したことはいうまでもないが、各種放射線治療、非放射線画像技術、診断支援技術の発展、更にはAIによる変革が控えている。

本会においても今年また一つ大きな変革があった。6月18日の第68回定期総会において定款改正案を上程し、創立以来の会員総会の仕組みを「代議員制」に移行することが決議された。代議員制移行への主な理由・目的は、①会員数が2,000名を超える組織であること。②従来の仕組みでは総会成立のために書面評決票・委任状を提出していただき、総会出席会員数と合わせて成立した時点で実質的には総会議案が可否決すること。③地区単位で一定会員数ごとの代議員制とすることで地区活動・支部活動ひいては本会の活性化につながる。などが挙げられる。

公益法人協会による公益法人用語集によれば、代議員制について「一般法に代議員制についての明文の規定はないが、現実には、社員（会員）数が極めて多く、全国規模で多人数が分布しているような場合には代議員制を設ける必要性は高いものと思われる。」としている。本会は全国組織ではないが、首都東京の職能団体として全国の約13分の1の会員を擁している（6月30日現在）。東京都看護協会、東京都臨床検査技師会なども代議員制をとっている。

なお、代議員制のためには定款の定めにより次の5要件が満たされていることが重要であり、監督官庁に相談し、パブリックコメントもいただいた上での改正となった。

*5要件

- ①社員（代議員）を選出するための制度の骨格（定数、任期、選出方法、欠員措置等）が定款で定められている。
- ②各会員について、「社員」を選出するための選挙（代議員選挙）で等しく選挙権及び被選挙権が保障されていること。
- ③「社員」を選出するための選挙（代議員選挙）が理事及び理事会から独立して行われていること。
- ④選出された「社員」（代議員）が責任追及の訴え、社員総会決議取り消しの訴えなど法律上認められた各種訴権を行使中の場合には、その間、当該社員（代議員）の任期が終了しないこととしていること。
- ⑤会員に「社員」と同等の情報開示請求権等を付与すること。

発明王・エジソンは、「やがて来る機械文明を生きるには、人の心も進化させなければならない」と言ったが、進歩した技術・システム・社会に対して、われわれは対応しているのか？ また、新しいことだけが正しく、進歩といえるのかは人間にあてはめると一概にはいえないと思っている。

代議員制となっても、定款の目的「この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康及び医療、並びに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。」に変更はなく、むしろ原点を見つめなおさなければならないように、もともと持っていた日本人の心を退化させないことこそが、新しい時代を生き抜く本当の進歩ではないだろうか。

平成29年度 城南支部研修会

テーマ「それって本当に認知症？」

— 認知症と認知障害の違い・高齢化による認知障害を理解する —

講師：医療法人社団京浜会 京浜病院・新京浜病院 理事長 熊谷 頼佳 先生

高齢者の増加に伴い、認知症患者は急速に増え、身近な病気になってきました。

われわれも検査や撮影時などに困ったことは何度か経験していると思います。認知症とはどのような病気で、どのように向き合ったら良いのか、わからないことが多くあると思います。

高齢者（認知症患者）の特徴から、行動パターンの見極めや効果的な対処法など、先生が長年の診療経験から、基本のポイントをわかりやすく講演していただけることになりました。

この機会に高齢者に対する正しい知識、対処法を身につけましょう。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年10月14日（土）15時00分～16時30分（受付開始14時30分～）

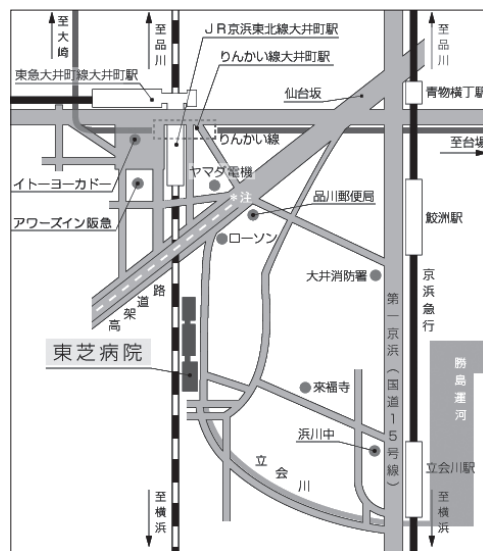
場 所：東芝病院 2号館4階講堂
東京都品川区東大井6-3-22

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城南支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：城南支部委員会 E-mail: shibu_jyounan@tart.jp
第15地区委員長（城南支部委員長） 原子 満
第4地区委員長 竹安直行
第8地区委員長 鎌田 治
第11地区委員長 千葉利昭



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第16回城北支部研修会

テーマ「医療現場における子どもとの関わり方について」

講師：博慈会記念総合病院小児センター 医療保育専門士 河野 拓二 氏

検査・処置・治療時や外来、入院生活の場面などで、泣いたり拒否したり逃げたりする子どもへの対応に苦慮したことはありませんか。今回は、小児対応の専門職である医療専任の保育士が、子どもへの上手なかかわり方のコツを伝授します！ 職種や施設を問わずにどんな人でもご参加いただけます。

子供たちに笑顔で検査を終えてもらえるように!! ビバ!! 勉強!!



記

日 時：平成29年10月27日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務局にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

情報交換会：近隣にて（当日ご案内致します）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyohoku@tart.jp

第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第61回きめこまかな生涯教育

テーマ「一般撮影画像処理」

講師：コニカミノルタジャパン株式会社

今回は一般撮影画像処理を特集します。
基礎的なことから一般的に使用している画像処理について解説を行います。
多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00～15:30	アナログからデジタル画像（何が違う）
15:30～16:00	デジタル画像処理の基礎
16:00～16:30	ブレイクタイム
16:30～18:00	各種画像処理（処理により画像はどう変化する）

記

日 時：平成29年10月28日（土）15時00分～18時00分（受付開始14時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

参 加 費：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動 ＜荒川クリーンエイド2017@北区 荒川岩淵関緑地＞

これまで公益社団法人東京都診療放射線技師会では、第5地区を中心に環境保全ボランティア活動の一環として、富士山、富津海岸、日暮里駅前などの清掃活動を行ってまいりました。

今回は技師会事務所に程近い荒川河川敷にて、荒川クリーンエイドに参加して清掃活動を実施します。荒川の自然を守り、動植物に優しい河川環境を作ることを目的とした趣旨をご理解いただき、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成29年10月29日（日）（受付開始9時30分～）

作業時間：10時00分～13時00分（予定）

*雨天の場合中止

場 所：荒川岩淵関緑地 岩淵船着き場近く

*現地集合になります。技師会スタッフジャンパーを目印にご参加ください。

交 通：JR「赤羽駅」東口下車 徒歩約20分

東京メトロ南北線「赤羽岩淵駅」1番出口より 徒歩約15分

JR王子駅または赤羽駅より都バス「玉57系統」岩淵町停留所下車 徒歩約10分

作業内容：河川敷の清掃活動

参加費：無料

会場主催：北区まちづくり道路公園課 / 特定非営利団体 荒川クリーンエイド・フォーラム

そ の 他：参加団体は町会・自治会・ボランティア団体・小学校・企業など多数
軍手、ごみ袋、トングはお渡しします。

申込方法：事前登録が必要なため、参加希望の方は下記へお申し込みください。

詳細な案内をご連絡させていただきます。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

以上



第73回・74回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「明日から役立つ知識 ～一般撮影～」

—実技（実演）によるポジショニング—

今回は実技（実演）によるポジショニングの勉強会を行います。
実際にポジショニングをしていただきながら、学んでいこうと思います。
多くの方のご参加をお願いします。

※今回はポジショニング実習のため、事前申込制とさせていただきます。
2回開催しますので、都合の良い方にお申し込みをお願いします。

～ 内 容（3名の講師によるポジショニング実習）～

1. 脊椎（頸椎、胸椎、腰椎）
2. 上肢（肩関節、肘関節、手関節）
3. 下肢（股関節、膝関節、足関節）

記

日 時：第73回 平成29年11月14日（火）19時00分～20時30分
第74回 平成29年11月28日（火）19時00分～20時30分
※同一内容で2回開催します。都合の良い方をご指定しお申し込みください。

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順、定員制）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受講料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア）講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ）欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

第4回

日 時：平成29年11月11日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

平成29年11月12日（日）8時30分～17時30分

場 所：三鷹産業プラザ 会議室

東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

アクセス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より 徒歩約8分

募集人数：100名

第5回

日 時：平成30年1月20日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年1月21日（日）8時30分～17時30分

場 所：首都大学東京 荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7-2-10

ア ク セ ス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅より 徒歩約3分

募 集 人 数：100名

第6回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア ク セ ス：未定

募 集 人 数：100名

以上

東放技は積極的に参加します

平成29年度練馬区健康フェスティバル

日 時：平成29年10月15日（日）10時00分～16時00分
場 所：としまえん

中央区健康福祉まつり

日 時：平成29年10月22日（日）10時00分～15時00分
場 所：中央区保健所

荒川クリーンエイド2017

日 時：平成29年10月29日（日）10時00分～13時00分
場 所：北区 荒川岩淵関緑地

OTAふれあいフェスタ2017

日 時：平成29年11月4日（土）～5日（日）10時00分～16時00分
場 所：ボートレース平和島

第33回東村山市民健康のつどい

日 時：平成29年11月11日（土）～12日（日）10時00分～15時30分
場 所：東村山市役所 いきいきプラザ

第20回メディカルマネジメント研修会

テーマ「どうする？ 地震に対する初期対応 ～放射線部門の備え～」

講師：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

現在、南関東を震源とするマグニチュード7クラスの地震が発生する確率は、30年間で70パーセントと推定されています。その上で地震発生時における行動計画を整理した、マニュアルの整備や訓練の実施といった災害対策は非常に重要です。

平成27年に都内医療施設に対して東京都診療放射線技師会SR推進委員会（旧災害対策委員会）が実施したアンケート調査では、災害拠点病院をはじめとする中規模以上の医療機関における放射線部門に特化した災害対策マニュアルの作成状況は6割、部門内訓練の実施状況に関してはその半数以下が未実施という結果でした。

本研修会では、当委員会の勤務する施設の放射線部門の災害対策マニュアルや訓練の様子など、自施設の実例や課題等を報告します。これから災害対策を進める各施設の災害対策担当者にとって一助となれば幸いです。

記

日 時：平成29年11月16日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：70名（先着順）

受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

日本診療放射線技師会の 永年勤続表彰について

渉外委員会

日本診療放射線技師会より本会に対し、標記について永年勤続表彰候補者の推薦依頼がありました。

今年度の資格到達者は本会で調査致しますが、調査漏れなどにより平成29年9月30日までに本会から連絡がない方、または前年度までに資格到達された方で受賞の意思のある方は、お手数ですが平成29年10月20日までに東京都診療放射線技師会事務所までご連絡くだされば幸甚に存じます。

規程内容分旨

【永年勤続表彰30年】

1. 平成30年3月31日現在において放射線関連業務に従事して勤続30年以上であること（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が昭和63年3月31日以前の方）
2. 平成16年3月31日までに入会し引き続き日本診療放射線技師会会員であること（15年以上継続会員）
3. 表彰される年度（平成29年度）までの会費を完納していること
4. 会の名誉を傷つける行為のないこと
5. 過去において同じ表彰を受けたことがないこと

※必要書類

日本診療放射線技師会指定の履歴書「様式第6号」

【永年勤続表彰50年】

1. 前記永年勤続表彰30年（旧25年表彰）を受けた者で、引き続き50年に達するまでの間、会員として在籍し会費を完納した方（診療エックス線技師または診療放射線技師免許取得が昭和43年3月31日以前の方）
2. 前項4および5に同じ

以上

お知らせ 1

平成29年度 電離箱式サーベイメータ確認校正

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

このたび、電離箱式サーベイメータ確認校正^{注)}（線源：60Co, 137Cs）を実施致します。施設で保有するサーベイメータの確認校正をご希望される方は、この機会に是非ご参加ください。

注) 確認校正とは、サーベイメータの実用校正による校正定数が継続して使用可能かを判定する校正方法であり、校正定数を保障するものではありません。

本事業の開催は本年度をもちまして終了となりますこと、予めご了承ください。

記

日 時：平成29年11月19日（日）10時00分～16時00分（受付開始9時30分～）

場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セ ス：東急田園都市線「駒沢大学」駅（各駅停車をご利用ください）

※東急田園都市線は、地下鉄半蔵門線と直結しています。

定 員：約14名程度（先着順）

参 加 費：無 料

申 込 方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

お申し込みの際は、通信欄に下記情報の入力が必要となりますので事前にお調べください。

①施設名 ②製造メーカ ③型式 ④製造番号 ⑤製造年月日 ⑥本事業への参加歴
詳細につきましては、参加申込後に担当者よりメールにてお知らせ致します。

申 込 期 限：11月10日（金）

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成29年度 第3地区研修会 テーマ「ティーチングファイルーここがポイントー」 ～肝臓（主にHCC）の働きから治療まで～

今回は肝臓（主にHCC）について勉強をしたいと思います。肝臓の撮像においては確立されており、放射線を用いた画像で存在診断から鑑別・確定診断までが可能となっています。また経過観察の多い部位なので再現性が大切になります。今一度、復習し理解が深まればと思います。

皆さまのご参加をお待ちしています。

～ プログラム ～

「肝臓の解剖・生理」	東京医科大病院	松本 亘 氏
「腹部CTの撮像方法」	東京医科大病院	平瀬繁男 氏
「腹部MRIの撮像方法」	国立がん研究センター東病院	熊谷大樹 氏
「腹部血管撮像ー診断から治療まで」	国立国際医療研究センター病院	若松和行 氏

記

日 時：平成29年11月29日（水）19時00分～20時30分（受付開始18時30分）

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟 4階第2講堂
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

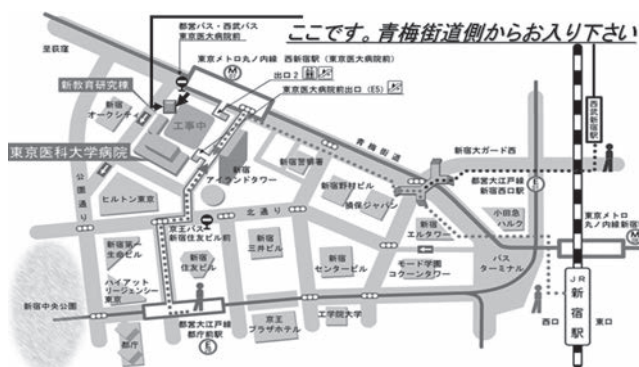
ア ク セ ス：丸の内線西新宿駅より 徒歩約1分
JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師500円、新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：下記メールアドレスまで件名「第3地区研修会」で送信、または東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第3地区”を選択）、もしくは会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 3

平成29年度 第11地区研修会

テーマ「医用画像表示用モニタの品質管理」

講 師：EIZO株式会社 営業1部 メディカル課 油 隆寛 氏

2017年7月に医用画像表示用モニタの品質管理に関するガイドラインJESRA X-0093が改正されました。今回の研修会はEIZO株式会社より講師をお招きし、ガイドライン改定に伴う品質管理と精中機構デジタルマンモグラフィ品質管理マニュアルについてレクチャーしていただきます。

実際にモニタを用いて品質管理を学習できる時間を設けますのでぜひご参加ください。なお、当日参加も歓迎致しますが、実機を使用する関係上、事前登録にご協力お願い致します。

～ プログラム ～

- ・モニタの品質管理に関するガイドラインJESRA X-0093の改定について
- ・精中機構デジタルマンモグラフィの品質管理について
- ・改定JESRAのガイドラインに即した実践ワークショップ

記

日 時：平成29年12月1日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）
会 場：東邦大学医療センター大橋病院 日本調剤山手薬局ビル3階会議室（病院玄関向かい）
ア ク セ ス：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分
京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分
※詳細は東邦大学医療センター大橋病院HP
(<http://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>)をご覧ください。

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：areall@tart.jpのアドレスへ、氏名・地区・勤務先をお知らせください。もしくは、東放技ホームページ(<http://www.tart.jp/>)の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第11地区”を選択）、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
※当日参加も歓迎致します。

問い合わせ：第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail：areall@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

ソウル特別市放射線士会学術大会 International session 演題募集について (東京都診療放射線技師会助成演題)

本会ではソウル特別市放射線士会との学術交流協定に基づき、下記日程の学術大会で研究発表を行う会員に対して、渡航費および滞在費の一部を助成します。この制度の利用を希望する会員は奮ってのご応募をお待ち申し上げます。

学会名	2018年ソウル特別市放射線士会学術大会
日 時	2018年3月16日(金)～18日(日)
会 場	大韓民国ソウル市・COEX ソウル特別市 江南区 三成洞159貿易センターCOEX

記

【1】発表形式および使用言語等

- ① 英語による口述発表とします。
- ② スライドもすべて英語表記とします。
- ③ スライド原稿は原則事前提出とします(期限は演題採用決定後通知)。

【2】応募資格

公益社団法人東京都診療放射線技師会の会員で、平成29年度会費完納者に限ります。

【3】募集演題数：2題

応募演題の中から学術教育委員会にて審査の上、理事会で承認し決定します。

【4】応募方法および期限

下記2種類の書類を平成29年12月27日(水)までにメールにて送付してください。

① ソウル特別市放射線士会学術大会参加費用等助成申請書

本会ホームページからダウンロード(Wordファイル)し、押印の上、PDFファイルで保存してください。

② 応募演題

図表なしで目的・方法・結果・考察を和文および英文で作成し、A4サイズ1枚以内で作成してください。なお、英文原稿については、各自で投稿前に英文校正会社やnative speakerによるチェックをお願いします。

送付先(お問い合わせ) アドレス：tart@tart.jp

(メールタイトルを「SRTA学術大会演題応募」とご記載ください)

【5】演題採用後の処遇について

演題が採用された方の参加登録・渡航・宿泊の各手配および費用清算は本会が行います。

以上

厚生労働大臣表彰



社団法人千葉衛生福祉協会 千葉診療所

か さい か ず た か
葛西 一隆

昭和25年8月2日生（満67歳）

学 歴

昭和47年 9 月	中央診療エックス線技師養成所	卒業
昭和50年 4 月	芝浦工業大学 電気工学科	入学
昭和55年 3 月	同	卒業

職 歴

昭和45年 4 月	財団法人弥生会	入職
昭和46年 2 月	同	退職
昭和46年 3 月	医療法人社団 友愛病院	入職
昭和47年 3 月	同	退職
昭和47年 9 月	医療法人 荒川病院	入職
昭和48年 7 月	同	退職
昭和48年 8 月	東京中央放射線診療所	入職
昭和49年 2 月	同	退職
昭和49年 2 月	医療法人 荒川病院	入職
昭和50年 7 月	同	退職
昭和50年 7 月	医療法人財団東京成仁病院	入職
昭和51年 8 月	同	退職
昭和51年 9 月	帝京大学医学部附属溝口病院	入職
平成13年 5 月	帝京大学附属放射線学校	出向
平成17年 4 月	帝京大学医療技術学部診療放射線学科	転属
平成28年 3 月	同	退職
平成28年 4 月	社団法人千葉衛生福祉協会 千葉診療所	入職
	現在に至る	

団体歴等

昭和61年 4 月～昭和63年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 第15地区委員
昭和63年 4 月～平成 8 年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 第15地区委員長
平成元年 4 月～平成11年 3 月	川崎市放射線技師会 学術担当役員
平成 8 年 4 月～平成10年 3 月	社団法人東京都放射線技師会 理事（学術担当）
平成11年 4 月～平成28年 6 月	社団法人東京都放射線技師会 副会長
平成28年 6 月～現在に至る	公益社団法人東京都診療放射線技師会 監事

賞罰歴

平成 5 年10月	川崎市保健衛生功労賞：川崎市
平成 6 年 5 月	永年勤続表彰（20年）：社団法人東京都放射線技師会
平成15年11月	永年勤続表彰（30年）：社団法人日本放射線技師会
平成22年 5 月	東京都知事感謝状：東京都

厚生労働大臣賞の受章にあたり

葛西一隆

このたび、公益社団法人東京都診療放射線技師会の推薦をいただき、創立70周年記念式典にて厚生労働大臣賞をいただきました。

私は、金の卵と言われ世に出て、もう50年になります。診療放射線技師として45年近く医療の現場で、検診、クリニック、病院、教育と多種多様でありました。技師会活動では日本医科大学付属第二病院（現：日本医科大学武蔵小杉病院）の故鈴木健さんに誘われて第15地区委員になり、あれから三十数年携わってきました。委員長時代は、第14・15・16地区はなぜ賛助会員なのか、訴えていました。現在は全員が正会員です。ひぐらしの里北地区検討委員会で委員長を仰せつかり、スペースなどの原案を考え事務所を広く大きくすることができたことに、何よりも感動・感激・感謝しております。また、理事及び学術委員長を務めた時に少人数制の寺子屋式学習である「きめこまかな生涯学習」を立ち上げて現在も継続しております。平成21年度関東甲信越放射線技師学術大会の実行委員長を務めました、主に接待をしていました。

このたびの受賞にあたり、篠原会長、渉外担当高野理事、各役員の皆さまに厚く御礼を申し上げます。ただ、うちの家内がいま生きてくれたならば、さぞ喜んでくれたと思います。

葛西一隆様の厚生労働大臣表彰の祝辞

公益社団法人東京都診療放射線技師会 会長 篠原健一

このたび、公益社団法人日本診療放射線技師会創立70周年にあたり、本会会員として多年にわたりご活躍された葛西一隆様（現監事）が厚生労働大臣表彰を受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申しあげます。

葛西様は昭和48年に診療エックス線技師免許（昭和51年に診療放射線技師免許）を取得以来44年以上の永きにわたり、この道一筋に奉職されております。この間、平成13年～平成28年まで帝京大学附属放射線学校、帝京大学医療技術学部診療放射線学科准教授として教鞭をとり、撮影技術学・救急医療学などを中心に、教科書のみならず経験論的事項も含めて、次代を担う診療放射線技師を育成しました。そして各実習施設や卒業生との絆を大切に、後進の指導・フォローアップにも力を注がれました。

本会においては、地区委員長、学術担当理事のほか、副会長を連続17年務められ、中澤前会長の6期12年、そして小職の3期5年にわたり会の運営、指揮、指導の任にあたられました。また、本会が参加する各地域の健康まつりなどでも率先して活動し、骨密度検査や乳房検診の必要性のアピール、医療被ばく相談などを通して都民の皆さまの不安や誤解に対する啓発普及活動にも尽力されました。

このたびの葛西様の受賞は、氏の診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものでありますが、医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてまことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、葛西様の益々のご健勝をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。

報 告

このたびの日本診療放射線技師会創立70周年において、篠原会長が本部推薦枠にて厚生労働大臣表彰を受賞されました。

第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

開催日：平成29年6月18日(日) 開催場所：東医健保会館 大ホール

鈴木総務委員長：ただ今より第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。はじめに、平成28年度物故会員の方々へ黙とうを捧げたいと存じます。皆さまご起立願います。黙とう。【一同黙祷】
ご着席ください。それでは、はじめに篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。



篠原会長：皆さま、こんにちは。技師会の篠原でございます。本日は日曜日にもかかわらず多くの方にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。また、ご来賓の日本診療放射線技師会の中澤靖夫会長、また日本放射線技術学会東京支部の飯田紀世一支部長にも貴重なお時間を割いて、ご来席を賜りまして心より感謝を申し上げます。

本日は第68回定期総会で通常通りの事業報告と決算報告、それから事業計画と予算案をご審議いただきますが、今回は第5号議案として定款改正についてもご審議いただきます。具体的には総会を代議員制に移行するご提案をさせていただいております。これは大げさに言いますと、長年の悲願と言いましょかこの形を模索していました。今まで行政から会員総会でとご指導をいただいておりますが、近年になり変わってまいりました。以前の総会で正会員の要件について東京都に在勤・在住の縛りを改正した時もそうでしたが、会の運営に関しては組織の皆さまが考えて決議していただければ良いですとのお話になりましたので、長い間懸案だった総会の方式を今回ご提案させていただきました。これは今まで以上に民主的で効率的な総会運営が第一の目的で、一年以上の時間をかけて定款諸規程等検討委員会にて審議を重ねたものを、今年の初めにパブリックコメントとして皆さまからご意見いただき、それらをまとめて理事会で承認を得た内容でございます。

今回は前年度の報告と本年度の計画ですけれども、この中に文言として記載のないものも加えますと、例えば2年後の2019年には関東甲信越診療放射線技師学術大会

として、今年は来週に行われます長野県大会、来年新潟県大会、そして次に東京都が開催地となり担当になります。翌年2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催がありますが、東京都診療放射線技師会創立70周年の年であり記念式典の計画が進んでいるところであります。さらに5年後、10年後、30年後のあるべき姿として、会員を増やしていくいろいろな計画をしております。会員を増やす仲間を増やす、これは日本診療放射線技師会を含めた診療放射線技師の多くの政策を実現するためのひとつの大きな手段でもあります。先日、日本診療放射線技師会の理事会において3月31日現在の会員数の報告がありました。地域別で見ますと、東京の会員数が2,000名以上おりますので当然ながら全国一位なのですが、組織率、構成比率を考えますと東京都には6,000人の診療放射線技師がいるといわれていますので、組織率は36.5%となり全国で下から3番目です。できれば半数以上はこの会に入っているといった状況を作っていきたいと考えており、日本診療放射線技師会と協力しながら推進していく所存であります。

午前中の学術大会からご出席の方は大変お疲れかとは思いますが、この総会を活発なものにさせていただきたくお願いを申し上げます。開会のあいさつとさせていただきます。本日はご参集いただき誠にありがとうございます。

鈴木総務委員長：次にご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会長の中澤靖夫様よりご祝辞を賜りたく存じます。中澤会長よろしくお願い致します。



中澤日放技会長：ただ今ご紹介に預かりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第15回ペイシエントケア学術大会、ならびに第68回東京都診療放射線技師会の定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。



次第でございます。こうして会場の皆さま方のお顔を拝見致しておりますとご存知の先生方も多くいらして、故郷に帰ってきたといったような安堵感を覚え

ます。日本診療放射線技師会の方からは、三つほどお話しさせていただきたいと思っております。



一つ目は、業務拡大に伴う統一講習会の実施推進でございます。先ほど篠原会長からもお話がございましたけれども、実施者数を見ましてもやはり東京都が一番多いです。この点ではナンバーワンと思っております。私も5月13日、14日と首都大学東京で統一講習会を受講させていただきました。初日のビデオ講習は一日中の視聴でしたので大変ではありましたが、非常に中身の濃い内容で大変勉強になりました。そして、二日目は臨床実習でしたのでこちらはとても楽しかったです。最後に試験を受けまして、これは落ちたら会長として恥ずかしいなと思いましたが、無事に修了証書をいただくことができました。この番号が8,288でございましたので、ようやく10,000人にきたのだと思いました。この事業展開は平成32年の3月まででございますので、あと三年間が勝負でございます。この三年間のうちに全国50,000人の診療放射線技師に受講していただいて、次の診療放射線技師法改正のステップにチャレンジしていきたい。そのためには現在獲得した業務拡大をしっかり履修して新しい診療放射線技師を作っていきたいと思っております。日本診療放射線技師会としましては履修された方々で実際に仕事をされている方々には、手当を出していただきたいといった文章を作成して、それを全国の医療機関にお願いをしていきたいと思っております。一生懸命やった方々には一生懸命評価していくといった構築をしていきたいと思っております。

二つ目のお話ですが、これは診療放射線技師の養成教育についてです。現在、私どもは最低でも学ぶべき単位が平成13年の3月に決められた内容の93単位、プラスこの度獲得した業務拡大の2単位を足した95単位です。しかしながら、平成13年に定められた指定規則は抜本的に改正されておりません。これを改正しようと平成27年、28年と二年間全国のすべての養成機関、46施設の代表の方々と意見交換を行ってまいりました。私たち委員会の答申案は105単位、全国協議会は97単位ということで戦ってきました。最終的に妥協案として102単位で6月13日に京都医療科学大学の遠藤啓吾先生と一緒に、厚労省の武井医事課長のところに妥協案を提出しお願いしたところでございます。“画像診断学”に関しましてわれわれは5単位を要望してまいりましたが、“画像診断・技術学”

としまして4単位。臨床実習についてわれわれは15単位を要望してまいりましたが、参加型の臨床実習も12単位と妥協しながら厚生労働省に持っていったわけでございます。この秋から、厚生労働省の正式な委員会です。10年後の診療放射線技師の教育に向けた指定規則改正の検討会が始まります。そこで、臨床実習におけるエックス線曝射も含めてこの委員会で検討していきますので皆さまにもご注視をお願いしたいと思っております。

三つ目のお話は、われわれ診療放射線技師が日常行っている仕事の評価を診療報酬に反映しようと動いております。日本診療放射線技師会は平成15年、私が第1回の診療報酬委員会の委員長になってからずっと続けております。このたびは昨年の暮れにアンケート調査を行いまして、約1,600施設のデータを東京臨海病院技師長の藤井雅代さんを委員長にしてようやくまとめることができました。6月15日に厚生労働省に報告にいったまいりました。正式な要望は明日、厚生労働省鈴木保険局長へ私から説明させていただき、今度の診療放射線技師の仕事の評価をしっかりとやっていただきたいと要望してまいります。特に目玉の箇所は“検像の技術”です。この検像を技術フィーとして診療報酬に反映したい。その他にもいろいろなことを要望しておりますけれども、あとは診療放射線技師を施設要件の中に記載されるようにしたい。これに関しましても、今年の11～12月くらいには診療報酬が決まると思いますが、この点も皆さまにご注視をしていただきたい。臨床の現場では検像をしっかりとやっていただいて、診療放射線技師が画像の精度管理を行っているということを実証していただきたい。こちらも皆さまにお願いしまして進めてまいりたいと思っております。最後になりましたけれども東京都診療放射線技師会の益々のご発展と本日ご列席の皆さま方のご健勝をご祈念させていただきましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

鈴木総務委員長：日本診療放射線技師会中澤会長様ありがとうございました。続きまして、公益社団法人日本放射線技術学会東京支部支部長 飯田紀世様よりご祝辞を賜りたく存じます。



飯田支部長

飯田支部長：ただ今ご紹介に預かりました日本放射線技術学会東京支部支部長の飯田でございます。第68回東京都診療放射線技師会定期総会の開催が、盛大かつ厳粛に挙行されましたことを心よりお慶び申し上げます。私どもの事業で5月20日に開催されました、第71回東京支部春期学術大会においては篠原会長にご列席いただき、また白木副会長、市川理事をはじめたくさんの方々にもご参加いただきましてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。少しだけ東京支部のご紹介とお

願いをさせていただきたいと思います。東京支部は女性3名を含む理事11名と各執行委員会と12の研究班、ここにおいでの方にも役員となつていただきいろいろとご尽力をいただいているところでありますが、本年度はその執行体制を持って多くの学術事業の開催を予定しております。東京支部単独の事業ではなく広域的に北海道支部、関東支部と3支部合同で英語研究発表トレーニングキャンプを二泊三日で、本年度は三浦半島のマホロバマインズ三浦で行われる予定となっております。また、来年度になりますが関東支部と5年ぶりになります、合同の研究発表大会を大宮のソニックシティで開催する予定となっておりますのでご参加いただきますようお願い申し上げます。そして、皆さまご存じの通り今回17回目となります東京都診療放射線技師会との合同学術講演会を、毎年行わせていただいております。篠原会長とも多くの意見交換をさせていただき、今後も協力体制を崩さず行っていきたいとの意見で合致しており、手を取り合って進んでいきたいと思っています。皆さま何卒よろしくお願い申し上げます。最後になりますが東京都診療放射線技師会の益々のご発展と会員の皆さま方のご健勝を祈念申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

鈴木総務委員長：日本放射線技術学会東京支部飯田支部長様ありがとうございます。次に総会議事に先立ち表彰を執り行います。平成28年度における特別功労賞、小野賞、永年勤続表彰、学術奨励賞、新人奨励賞の表彰及び感謝状の贈呈を執り行います。それでは担当理事よりお願い致します。



高野渉外委員長

高野渉外委員長：それでは本会表彰規定により平成28年度表彰を行います。表彰規定第2条第1項により特別功労賞の表彰を行います。受賞者は大室正巳さんです。大室さんは平成17年度より理事および渉外委員長を9年、その後同委員を3年の述べ12年間の永きにわたり本会の役員を歴任され、適正な事業遂行と発展に尽力されました。その功績を称え、理事会の決定により表彰致します。大室さん壇上へおあがりください。

篠原会長：表彰状、特別功労賞、大室正巳殿。貴方は多年にわたり、本会事業の普及・推進に寄与された功績は誠に顕著であります。ここに第68回定期総会においてその功労を称え、記念品を贈り表彰致します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうも長い間、ありがとうございます。

高野渉外委員長：表彰規定第2条第5項により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり技師会活動ならびに地域医療に貢献された方を対象に、各委員会からの推薦を受け理事会の承認を得た方々に贈られます。それ



特別功労賞：大室会員

では小野賞受賞の10名の方を紹介致します。第1地区、保川裕二さん。第2地区、寺田正巳さん。第5地区、中村浩英さん。第6地区、壬生慎治さん。第11地区、岩崎功さん。第13地区、川崎政士さん。第15地区、佐々木武弘さん。編集委員会、内藤哲也さん。学術教育委員会、黒田奈美子さん。広報委員会、仲田一成さん。それでは10名を代表して寺田正巳さん壇上をお願い致します。

篠原会長：表彰状、小野賞、寺田正巳殿。貴方は多年にわたり、本会活動ならびに地域医療に貢献された功績は誠に顕著であり、その功績は小野賞に値します。ここに第68回定期総会において表彰致します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうも長い間、ありがとうございます。



小野賞：寺田会員

高野渉外委員長：続きまして、表彰規程第2条第2項により功労賞、勤続20年表彰の方々をご紹介致します。中谷麗さん。中山泰一さん。久保良太郎さん。有賀昭仁さん。関根辰男さん。野口美樹さん。宮澤こずえさん。前田朗さん。三上亜希子さん。井上元一さん。関口博之さん。それでは以上の方々を代表して野口美樹さん壇上をお願い致します。



功労賞：野口会員

篠原会長：表彰状、野口美樹殿。貴方は20年以上にわたり診療放射線業務に精励され、期待に貢献された功績は誠に顕著であります。ここに第68回定期総会において表彰致します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうも長い間、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

高野渉外委員長：続いて学術奨励賞、新人奨励賞の表彰は市川学術教育委員長に代わります。

市川学術教育委員長：学術教育委員会の市川です。それでは、平成28年度学術奨励賞および新人奨励賞を発表致します。平成28年度学術奨励賞、演題名「散乱X線補正処理を用いた胸部ポータブル撮影における適正EI値の基礎検討」、発表者：鳥居純さん、施設名：国立がん研究センター中央病院、それでは壇上へお上がりください。

篠原会長：学術奨励賞、国立がん研究センター中央病院、鳥居純殿。平成28年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「散乱X線補正処理を用いた胸部ポータブル撮影における適正EI値の基礎検討」は極めて優秀と認められました。よって第68回定期総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもおめでとうございます。



市川学術教育委員長：引き続きまして新人奨励賞に移りたいと思います。演題名「乳幼児胸部撮影における小児固定具使用の工夫」、発表者：山崎綾乃さん、施設名：公立福生病院、壇上へお願い致します。

篠原会長：新人奨励賞、公立福生病院、山崎綾乃殿。平成28年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「乳幼児胸部撮影における小児固定具使用の工夫」は極めて優秀と認められました。よって第68回定期総会に



において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもおめでとうございます。

市川学術教育委員長：それでは二人目の受賞者です。演題名「頭部領域におけるSE型radial scan (RADAR-SE)の有用性の検討」、発表者：南山諒輔さん、施設名：東邦大学医療センター大橋病院、壇上へお願い致します。

篠原会長：新人奨励賞、東邦大学医療センター大橋病院、南山諒輔殿。平成28年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「頭部領域におけるSE型radial scan (RADAR-SE)の有用性の検討」は極めて優秀と認められました。よって第68回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもおめでとうございます。



市川学術教育委員長：三人目になります。演題名「当施設における被ばく相談の現状と今後の課題」、発表者：萩原奈津美さん、施設名：順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター。壇上へお願い致します。

篠原会長：新人奨励賞、順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター、萩原奈津美殿。平成28年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「当施設における被ばく相談の現状と今後の課題」は極めて優秀と認められました。よって第68回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成29年6月18日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会長 篠原健一。どうもおめでとうございます。



市川学術教育委員長：おめでとうございます。学術教育委員会からは以上となります。

鈴木総務委員長：受賞者の皆さまおめでとうございます。



市川学術教育委員長

す。なお、受賞者の皆さまは記念撮影を行いますので、総会終了後は御着席のまましばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前に、ご来賓の方々のご退席致します。ご来賓の皆さま方には、ご多用にもかかわらず、ご出席を賜りまことにありがとうございます。貴会及び皆さま方のますますのご発展を祈念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。中澤様は、本会顧問でもありますのでそのままご着席をお願い致します。それでは、本総会の資格審査委員ならびに総会運営委員をご紹介します。資格審査委員ならびに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として、芦田哲也さん、石川徹さん、宇賀神哲也さん、大貫弘二さん、沖田和之さん、鮎川幸司さん、藤村耕平さん、松井幹さん、三富明さん、渡部史也さん以上10名、資格審査委員長は鮎川幸司さんです。よろしくお願い致します。次に総会運営委員として、飯田康彦さん、甲斐麻記子さん、片岡剛さん、高林正人さん、曾根辰徳さん以上5名、総会運営委員長は甲斐麻記子さんです、よろしくお願い致します。それでは、資格審査委員会報告を鮎川幸司委員長よりお願い致します。

鮎川資格審査委員長：資格審査委員会よりご報告申し上げます。平成29年6月1日理事会承認時の正会員数は2,116名です。総会成立会員数は本会定款17条、第1項の規定により1/2以上の出席者数1,058名以上であります。現時点での会員出席状況をご説明致します。総会出席者数148名、書面表決数1,170名、委任状389名、合計1,559名。従いまして、この第68回総会は成立することをご報告致します。また、第5号議案は定款改正ですので、定款第17条第1項の規定により2/3以上の出席者数1,411名以上であり、こちらも成立していることをご報告致します。資格審査委員長 鮎川幸司。



鮎川資格審査委員長

鈴木総務委員長：それでは、本総会の議長団を選出したと存じます。会場より、立候補の方、いらっしゃいますか。それでは、立候補された方は壇上の方へおいでください。それでは議長団よろしくお願い致します。

高坂議長：第12地区の高坂知靖です。

岡部議長：第6地区の岡部博之です。不慣れではございますが皆さまのご協力をお願い致します。

高坂議長：これより審議してまいります。第1号議案・平成28年度事業報告案、第2号議案・平成28年度決算報告案を私、高坂が、第3号議案・平成29年度事業計画案、



高坂議長・岡部議長

第4号議案・平成29年度予算書案を岡部議長が担当致します。皆さまのご協力をいただき、議事を進めてまいりたいと存じます。

どうぞよろしくお願い致します。はじめに、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場で改めて議長団よりご指名し、皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議はございますか。異議がないようですので、指名をさせていただきます。はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井諱憲さん、森美加さん、山崎綾乃さん、田沼征一さん以上5名の方々です。続いて、会場係として松田紗代子さん、浅沼芳明さん、大脇由樹さん、原良介さん以上4名の方々です。次に採決係として岡部圭吾さん、高瀬正さん、雨宮広明さん、河内康志さん、吉井伸之さん、以上5名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の高坂知靖、岡部博之及び全出席理事となります。それでは、以上の総会職員について拍手をもってご承認願います。ありがとうございました。次に、総会の運営について総会運営委員会報告を、甲斐麻記子委員長よりお願い致します。



甲斐総会運営委員長

甲斐総会運営委員長：総会運営委員会よりご報告申し上げます。ただ今の時刻は15時12分です。これより、第1号議案・平成28年度事業報告案、第2号議案・平成28年度決算報告案、第3号議案・平成29年度事業計画案、第4号議案・平成29年度予算案、第5号議案・定款改正案、以上、第1号議案から第5号議案までを16時30分までにご審議願います。会員の皆さま方の活発なご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長 甲斐麻記子。

高坂議長：ただ今の報告について、異議はございますか。異議がないようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。続きまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議はございますか。異議がないようですので、議事に入ります。第1号議案平成28年度事業報告を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

篠原会長：第1号議案平成28年度事業報告につきまして、総括を読ませていただきます。

平成28年度は、熊本地震、英国のEU離脱選択、リオ



篠原会長

五輪/パラリンピック、築地市場豊洲移転問題、ISRRT (in Seoul)、3年連続の日本人ノーベル賞受賞、米国大統領選挙など、国内外において大きなできごと

の連続であった。今後に目を向けると、平成31年（2019年）は関東甲信越診療放射線技師学術大会東京大会、平成32年（2020年）は東京五輪/パラリンピック開催、本会創立70周年（法人化40周年）、平成33年（2021年）にも全国大会の開催が視野に入っている。これらそれぞれの計画の第一歩を踏み出した年度であった。本会スローガンにある「世界に貢献する…」という意味においては、国際化事業としておよび2020年東京五輪/パラリンピック開催都市・首都東京の職能団体として果たすべき使命を担うべく一つの手段として、ソウル特別市放射線士会（SRTA）と本会とのあいだに「学術交流協定」を締結した。一昨年のAACRT (in Singapore) で初めて意見交換し、昨年3月のSRTA学術大会および10月のISRRT2016（ソウル大会）での話し合いで合意、同12月に協定書調印となった。ISRRT2016及びSRTA学術大会2017では、本会副会長も含む多くの日本人演者の姿を目にし、今後の展望に大きな期待を持ったところである。なお、ソウル側からの学術発表の受け皿としては、関東甲信越診療放射線技師学術大会を想定している。これは、ソウルと交流協定を結んだ滋賀県と近畿地域の関係に前例があり、東放技そして診療放射線技師の国際化に役立てるべく、協定が有意義なものとなるよう発展させていく所存である。業務拡大に伴う統一講習会は全7回開催し、本会による当該講習会の実施回数、受講人数とも、会員の皆さまのご理解ご協力により、他道府県に比べて一番多い数値となった。立地上本会会員以外の多くの方にも受講していただいた。ただし、南関東地域は全国の約1/7の会員が在籍しており、東京都だけでも約1/14である。受講者数はトップであるが、会員数に対する受講率は上位とはなっていない。引き続き皆さまのご協力をお願いする次第である。平成24年に公益社団法人に移行し5年が経過した。一時2,000人を切った会員数も徐々に伸びてきている。法律や規程といったものは、できた時から陳腐化が始まるといわれるが、われわれの定款・諸規程・会務運営などにおいても適宜見直しや改革をしていく必要がある。たとえば総会なども書面評決で成立している実態である。これは定款に定められた制度であり有効な手段である。しかし、より能動的で民主的な方法として各地区単位での代議員制導入に向けた調査・検討・定款など改定のため、定款諸規程検討委員会を再起動し活動を行った。パブリックコメントの収集、理事会審議・承認、都庁管理法人課による指導などを経て改定案提出の運びとなった。更なる会務運営の効率化、

地区・支部活性化のための大きな一歩と位置付けたい。われわれ診療放射線技師は国民の信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく、さまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術＝EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。今回の業務拡大の結果が国民医療のためによかったのか、チーム医療推進に寄与したのか、それがさらなる業務拡大につなげなければならない。国民の医療安全の点を見すえて、10年後、20年後、30年後のあるべき未来のためにいま何をすべきかが重要である。現役中に実現できなくても、いま取り組んでおかなければ、さらに遠い未来となる。われわれには、先人が残してくれたこの職能をより良いものにして引き継ぐ使命がある。本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げますとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方より一層のご支援とご協力をお願いする次第である。以上、総括を読ませていただきましたが、事業報告以降は総会資料をお読みいただいてご審議いただきたいと思います。よろしくお願い致します。**高坂議長**：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区、氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。



河手会員

河手会員：第14地区の河手と申します。総会資料27ページにあります事業報告6.その他、法人の目的達成に必要な事業は、特別委員会で活動したとして

いますが、具体的にはどのような活動をされたのでしょうか。また、第3号議案の委員会事業計画3.特別委員会の項目では、具体的な活動が示されているが、なぜここにはないのかもご説明をお願いしたい。

篠原会長：先ほどの総括でも触れさせていただいたものもありますが、大きく“スローガンに基づく事業”とまとめさせていただきました。これは、チーム医療に関することを示し、統一講習会が関連する事業の一つでもありますし、その他にも公益に関わって参ります。そして、世界に貢献するといった意味で国際化を図ったソウル特別市との学術交流協定、ISRRTでの学術発表など、そういったことを合わせた診療放射線技師の生涯教育に対しまして各地区・支部の活動も含みます。よって特別委員会単独ではなく、会全体で行った事業ですのでこのよ

うな記載とさせていただきます。



河手会員：ありがとうございました。

高坂議長：他にございますか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。保留1名、賛成多数、よって、平成28年度事業報告は原案の通り承認されました。それでは第2号議案の平成28年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。



関経理委員長：経理を担当しております関です、どうぞよろしくお願い申し上げます。これより平成28年度決算報告をさせていただきます。会誌5

月号の35ページから43ページが、第2号議案の決算報告となっております。まず、35ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債及び正味財産の合計とが一致しており、前年度と当年度を比較しております。事前に資料を配布しておりますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。資産の部、2.固定資産、什器備品であります。当年度は前年度に比べ54万円ほど増加しております。これは、研修会や会議の時に、音響設備の不具合が多く見られ、参加者に迷惑がかかることが多くなったため更新したためであります。次に、固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが、建物部分について前年度より67万円ほど減少しています。これは、事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものです。建物附属設備についても同様となっております。次に負債の部になります。まず、預り金については、3月までに源泉税などを徴収したもので、収益ではなく負債として計上しています。4月以降に税務署などに支払うものです。長期借入金は、事務所取得のためのもので、返済により222万円の減少となっています。以上により、当年度末の資産は、8,158万円となっています。次に、36ページ、37ページに正味財産増減計算書を示しており、前年度と当年度を比較しております。なお、当年度事業

につきましては、事業報告の通りの開催となっております。経常収益につきましては、会員のやや増加と過年度会費納入によって、146万円増収となっております。その他の収益は、前年度と同様の傾向となっております。次に、経常費用に移りますが、事業費と管理費とに大きくわかれております。事業費は、技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用です。中ほどの経常費用ですが、事業費から特徴のあるところを説明致します。会議費は、地区委員会、定款諸規定等委員会などが活発に活動したため、62万円増加しております。減価償却費、消耗品費につきましては、先ほど説明した音響設備の更新による増加であります。印刷製本費につきましては、発送会社変更により、いままで通信運搬費に含まれていた発送作業が、印刷会社で一括受注したため、こちらに含まれるようになったのが主であります。福利厚生費であります。事務職員の厚生年金に加入の事業者負担分となり、広報関連費は、公益活動を推進する上での各地行政まつりへの参加、配布物の制作、ホームページ関連となります。その他の科目につきましては、例年通りの実績となっております。37ページの管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により、最終的に経常収益は2,862万円、経常費用が2,715万円となり、当期経常増減額が、1,471,000円となります。ただし、この金額には、会計基準の変更により計上している減価償却費が含まれます。減価償却費は、計上されていますが、購入した時に費用を支払っているもので、実際には現金預金の流出を伴わない費用です。以上で決算報告と致します。ご審議をよろしくお願い致します。

高坂議長：それではつづいて平成28年度監査報告を監事より願います。



葛西監事、野田監事：監事の葛西です。社外監事の野田です。それでは監査報告をさせていただきます。私たち監事は、平成

28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告します。監査の方法及びその内容。各監事は、理事及び使用人などと意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人などからその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類などを閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸



借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書ならびに財産日録について検討しました。監査意見。事業報告などの監査結果。事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。計算書類及びその附属明細書ならびに財産日録の監査結果計算書類及びその附属明細書ならびに財産日録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

高坂議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。

河手会員：本日は日放技会長でもある中澤顧問もいらっしゃいますのでお伺いしたいのですが、統一講習会の運営は各都道府県技師会で運営されていると思うのですが、参加費は日放技に入っていると思います。諸経費は日放技から出ているとは思いますが、その他は各都道府県には入らないのでしょうか。

中澤顧問：6月の第78回日本診療放射線技師会総会でご承認いただきましたけれども、平成28年度の決算としては統一講習会全体の収支は約3,800万円のプ



ラスです。ただ、平成25年、26年、27年とファントムなど購入の機材投資がございます。また、そろそろファントムの更新時期もございます。今のところプラスですけども、受講者数の推移など考慮して今後3年間を考えますと、赤字に転じていくと思われます。現時点では参加者が10人でも20人でも集まったら行っていただきたいとお願いしているところです。ですので、これからは出ていく方が多いのではないかと推察しておりますので、ご理解をお願いしたい所存です。

高坂議長：他にございますか。

寺田会員：第2地区の寺田と申します。正味財産増減計算書の中で

印刷製本費に運搬費が含まれるということで123万円程度の増加ですが、通信運搬費は23万円しか減少となっております。単純に考えると相殺されても良いのかと思いますが約100万円の差の説明をお願いしたいです。

関経理委員長：増加した123万円は全て通信運搬費ではなく、会員増加に伴った印刷費の増加も含まれますので相殺というわけにはなりません。

高坂議長：他にございますか。

河手会員：事務所購入の資金の返却状況をお伺いしたい。

関経理委員長：貸借対照表に長期借入金がありまして、事務所は約10年前に購入したもので毎年222万円を支払っております。来年度で完済致します。

高坂議長：他にございますか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成28年度決算報告は原案の通り承認されました。



岡部議長：それでは第3号議案の平成29年度事業計画を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：第3号議案の平成29年度事業計画の総括を読ませていただきます。昨年の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利、英国のEU離脱決定、韓国大統領の弾劾可決、イタリアで憲法改正を国民投票で問うた首相が敗れ辞任など世界は「不確実性」を増し、さまざまな面で2017年は激動の年になるといわれている。法改正による「診療放射線技師の業務拡大」に伴う統一講習会を一昨年度から実施しているが、現在の職務に直接必要がなくても、診療放射線技師職としての業務範囲拡大であるので、新カリキュラムによる教育修了の学生が卒業してくるまでの間に、できるだけ多くの既卒者に速やかに受講していただきたい。目先のことだけではなく、更なる業務拡大や将来的な本質的改正への重要なステップと認識していただきたい。診療放射線技師の役割として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、更なる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れる必要がある。60年以上前にできた診療放射線技師法は、現在の高度な医療現場や他職種連携のチーム医療実践現実とのずれが生じているといわれている。・養成教育の四年制大学化及び参加型臨床実習の実現・国

家試験委員構成の見直し・医学物理士のあり方・がん対策推進基本計画に基づく診療放射線技師育成の充実及び環境整備・チーム医療を推進するための診療放射線技師の活用・医療安全のための適切な管理体制の構築①医療放射線による被ばくの管理体制②放射線関連医療機器の管理体制③画像データの管理体制・緊急被ばくならびに医療被ばくに対応するための専門官の配置・放射線の教育・普及啓発活動に対する診療放射線技師の活用・診療放射線技師法の抜本的改正・ワーク・ライフ・バランスなど、日本診療放射線技師会の諸政策と連動した取り組み、行動も重要課題となる。われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく本年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入っていく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心に活動していく。われわれ東京都診療放射線技師会にとっても、また一つ大きくカウンターが進み、関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催担当年まで2年、東京五輪/パラリンピックそして本会創立70周年まで3年となる。昨年度来から大まかな準備活動は始まっているが、本年度はより具体的な段階へと移行する。役員、会員各位において、良い意味での「激動」の年となり、一層のご支援・積極的な会務への参画をお願いしたい。以下、定款に基づく本会の事業に関しましては資料の通りですので審議よろしくお願い致します。



篠原会長

岡部議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。

名古屋会員：日頃よりわれわれ診療放射線技師のために活動いただきまして、会長はじめ執



名古屋会員

行部の皆さまにこの場をお借りして感謝申し上げます。質問ですが、総括にあります関東甲信越診療放射線技師学術大会、本会創立70周年の活動への予算などはどのようにしておりますでしょうか。

岡部議長：ご指摘の事業は、今後の事業となっております。本年度の会議は通常通りの会議の時にっており会議費や旅費交通費に含まれております。また、大きな費用の発生は次年度以降となりますので本年度の予算には入っておりません。

岡部議長：他にございますか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備



高坂議長・岡部議長

願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成29年度事業計画は原案の通り承認されました。それでは第4号議案の平成29年度予算書を議題と致します。執行部より説明願います。

岡部議長：これより平成29年度予算書をご提案させていただきます。会誌5月号の55ページから56ページが、第4号議案の平成29年度予算書となっております。まず、一番上の行を横に見ていただくと、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計になります。その右側に参考として前期予算との差異を掲載しました。この3列を見ていただきご説明致します。事前に資料を配布していますので、特徴的なものについて説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。まず、55ページ上半分ですが、1. 経常増減の部 (1) 経常収益で本会の収入を示しています。受取会費ですが、正会員と賛助会員で2,170万円、計上しております。その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については、前年実績を参考に計上しております。つぎに55ページ下半分と56ページにかけての、(2) 経常費用、つまり支出をご説明致します。前年度実績を参考に計上しております。旅費交通費、通信運搬費は、地区委員会、定款諸規定等委員会などの活発な活動、会員増加による通信費の増加、郵便料金値上げのため多く計上しております。減価償却費については、音響設備の更新、広報関連費につきましては、行政まつりへの参加拡大のため多く計上しております。また、新たに管理費に役員報酬の科目を追加致しました。いままでは支払報酬に含まれていましたが、より明確にするために分離致しました。その他は、前期予算との対比でわかる通り、前年度とほぼ同額となっております。活発に公益活動を実施することと研修事業の充実を目指すということでありまして、以上より、最終的に経常収益は2,793万円、経常費用が2,793万円となり、当

期経常増減額が、0円となります。以上、平成29年度予算書をご報告致します。ご審議をよろしくお願い致します。

岡部議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。

松坂会員：皆さまご苦勞様です。第14地区の松坂です。以前より気になっていたのですが、予算案の中に総会費の項目がないのですが、どのようになっておりますでしょうか。企業によっては総会費に非常に大きな予算を取っているところもございます。これから代議員制にもなるので会議費に入れるのではなく、ちゃんと記載をされた方がよろしいのではないのでしょうか。

関経理委員長：ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り総会費は会議費に含まれております。これは公益法人化の際に官庁へこのように申請していますので会議費に入れております。いただいたご意見は次年度以降に検討させていただきます。



松坂会員

松坂会員：われわれの地区委員会などと総会を一緒にの会議費とするのはいかがなものか。早急にご対応いただきたい。

関経理委員長：貴重なご意見ありがとうございます。次年度以降検討させていただきます。

岡部議長：他にございますか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、平成29年度予算書は原案の通り承認されました。

それでは第5号議案の定款改正(案)を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：定款改正(案)についてご説明致します。本会は、昭和25年の創立以来、最高意思決定機関である総会の構成を正会員としてきた。現在、会員数も2,000名以上となり、毎年増加傾向にあることから、総会の成立要件(定足数)である過半数の出席(書面表決票を含む)や、会場確保など、労力やコストの面からも非常に困難な状況である。今回、総会を確実に効率的に開催および運営するために、総会の構成要員を従来の会員出席の方式から、地区より選出された代議員による「代議員制総会」への移行を提案する。提案事項は、各地区委員会に意見を求めると共に、平成29年1月15日から2月28日まで本会ホームページでパブリックコメントを募集した。また、東京都管理法人課のご意見も踏まえて、「新旧対照表」として総会に提案する。なお、「代議員制総会」導入に際しては、関連規程として「代議員及び予備代議員選出規程」も参考資料として提示する。総会資料に誤植がございました。59ページの下記にあります“第39条

6項平成27年6月18日改正、施行する。”となっておりますが、平成27年ではなく平成29年の誤りでございます。以上となります。皆さまご審議をお願い致します。

岡部議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。

松坂会員：改正案では、総会開催は代議員の過半数の出席で成立するとなっておりますがこの割合はいかがでしょうか。半数というのは心もとない数字ではないかなと思います。日放技の総会に何度も出席してきましたが、95%くらい出席率だと思います。代議員制となれば70名くらいで過半数となりますと35名くらいで成立となります。成立は2/3の出席で良いのではないのでしょうか。それと、代議員の旅費や日当に対して改正案に記載がないのですがこちらもご説明をお願い致します。



篠原会長：まずはお後の方のご質問からお答え致します。代議員の旅費や日当などは定款上に記載せずに、諸規程などに記載

されます。通常の会議と同じ扱いになりますので、役員報酬規程など諸規程に記載運用となります。定足数に関しましてはもちろん多ければより良いと思いますが、現状は会員出席と申ししても本日は148名です。この少ない参加者数ですが、実は書面票決が1,559名ですのでそれだけでも本日の議案は議決される状況です。それを解消する目的の為でもある改正ですし、法律の根拠があり過半数とさせていただきます。実際には全員にご参加いただきたいのが本音でございますが、皆さまお仕事の都合もあるかと思ひますし、9割もしくは2/3としてしまいますと総会が成立しないということも考えられます。半分出れば良いといった安直な意味合いではございませんのでご理解をいただきたい。今後は地区会員30人に一人の責任を負ってご出席いただきたいと思ひます。

松坂会員：任意の出席ではなくなるのですから、もう少しシビアでも良いかと思ひます。

篠原会長：捕捉しますと、日放技の定款上でも総会成立は過半数となっております。日放技と同様に責任を持ってご参加いただけるようにご協力をお願いしたいです。



会場

松坂会員：私もそのように思います。ありがとうございました。

岡部議長：他にございますか。なければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数によって、定款改正(案)は原案の通り承認されました。

以上をもちまして第68回定期総会の議事を終了させていただきます。ただ今をもって議長団を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

鈴木総務委員長：高坂議長、岡部議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。以上で本日の全日程が終了致しました。白木副会長より閉会のご挨拶を申し上げます。



白木副会長

白木副会長：今日は、第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会にご参加いただきましてありがとうございました。ご承認いただきました計画

案に沿って役員一同精一杯取り組んでいく所存でございます。ぜひともご理解ご協力をよろしくお願い致します。それでは本日これで閉会と致します。ありがとうございました。

鈴木総務委員長：以上をもちまして、第68回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了させていただきます。

イエローケーキ

山歩きが登山?!

妻がテレビを見ながら「わたしも山歩きをしてみたい」と、言ったのがきっかけで一昨年より山歩きをはじめました。もともと体を動かすことが好きで多少は体力に自信がありました。しかし、実際にやってみると結構大変で、早く頂上につかないかなと思いながら下ばかり見て歩いています。景色や高山植物を愛でながら歩くといったことがなかなかできません。早く余裕をもって歩くことができるようになりたいと思っています。

自宅が関越自動車道に近いということもあり主に八ヶ岳を歩いています。今回は赤岳展望荘に泊ってみたいということで、八ヶ岳の主峰、赤岳へ山行に行っていました。天気も良く夕焼け、夜空、ご来光としっかり見ることができ心癒されてきました。知人からは初心者でも気軽に登れる山だと言われたのですが梯子や鎖場などがあり、かなりスリリングで体力的にも大変な山行でした。先の見えない登りでは老夫婦に「あと少しですよ。がんばって!」と言われました。辛いときというのは全く面識のない方に声をかけていただくだけでも、こんなにも元気が出て頑張れるのだなと思いました。声をかけてくださった老父婦のように思いやりや気づかいといった気持ちを持ちたいと思いました。ただ自分からは見ず知らずの方に声をかけるといったことはなかなかできないので、次回から頑張ろうと思っています。山小屋では知らない方々からいろいろな情報(山情報だけでなく花の育て方、近所のお祭りなど)を教えていただき、刺激を受けながら勉強になり楽しいひと時を過ごすことができました。帰りは、妻の体調も考え縦走はせずまっすぐ駐車場に戻りました。

今回は山小屋おすすめの温泉には行けませんでした。無事に帰宅することもでき十分に達成感のある山行でした。妻はかなり筋肉痛で今でも朝起きるのが大変そうです。当分は山行に行かないと言っていますが私はどこに行こうかと検討中です。頂上に立つ達成感も良いのですが、無理をせず歩いてみて「いいな～」と思ってもらえれば嬉しいです。

I.A

平成28年度 特別功労賞・功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

【特別功労賞】

大室 正巳 東京通信病院

【功労賞 (勤続20年表彰)】

第1地区	中谷 麗	東京通信病院
第3地区	中山 泰一	JCHO東京新宿メディカルセンター
第4地区	久保良太郎	JR東京総合病院
第7地区	有賀 昭仁	医療法人社団恵信会 友仁病院
第8地区	関根 辰男	安田病院
第9地区	野口 美樹	板橋中央総合病院
第12地区	宮澤こずえ	公立昭和病院
第12地区	前田 朗	公立昭和病院
第13地区	三上亜希子	医療法人社団永生会 永生病院
第13地区	井上 元一	医療法人社団藤啓会 北町診療所
第13地区	関口 博之	青梅市立総合病院

【小野賞】

編集委員会	内藤 哲也	社会医療法人財団大和会 東大和病院
学術教育委員会	黒田奈美子	公立福生病院
広報委員会	仲田 一成	東京医科大学病院
第1地区	保川 裕二	公益社団法人日本診療放射線技師会
第2地区	寺田 正巳	聖路加国際病院
第5地区	中村 浩英	東京大学医学部附属病院
第6地区	壬生 慎治	東京慈恵会医科大学附属第三病院
第11地区	岩崎 功	自衛隊中央病院
第13地区	川崎 政士	医療法人社団大聖病院
第15地区	佐々木武弘	昭和大学病院



特別功労賞



功労賞(勤続20年表彰)



小野賞



第2地区研修会に参加して

聖路加国際病院 叶 将也

今回、平成29年6月22日に開催された第2地区研修会に参加させていただきました。

聖路加国際病院の宇内大祐先生を講師に迎え、「救急CTにおける技師の役割とピットフォール ～検査から読影補助まで～」をテーマにご講演いただきました。

宇内先生は認定救急撮影技師であり、DMATにも所属されております。

その経験より、救急患者に対する外見的情報や、事前の病態情報をどのようにして捉え、どのようにしてCT撮影技術に活かしていくのか等、救急業務に必要とされる知識や技術について解説していただきました。

10年を超える期間で培ったご自身の経験を基にしたお話は、成功したことや失敗したこと等の事実談に加え、その裏にあった心理的な背景までを含めて

説明されており、非常に身近な事柄として捉えやすい内容でした。それと同時に、その事実談は誰でも経験し得る症例であり、これから様々な状況に直面するであろう私たち若手技師にとってはすごく切迫したものでもありました。

また、今回の講義を通して、救急医療とは三位一体や四位、五位といった連携が求められていることを痛感するとともに、救急医療に関わる他職種の方々が放射線技師に寄せている期待は、決して小さいものではないと感じました。

スタッフ間での日常的な臨床経験の振り返り作業を積極的に活用し、「できていること」に加え「できること」を増やしていけるように日々取り組みながら、スタッフ一丸となって最良の放射線技術を救急診療に提供することで、救急医療の現場に少しでも貢献できればと今回改めて感じることができました。



第2地区研修会を振り返って

聖路加国際病院 杉 智子

平成29年6月22日(木)に開催された第2地区研修会に参加させていただきました。

宇内先生に「救急CTにおける技師の役割とピットフォール ～検査から読影補助まで～」をテーマにご講演いただきました。

先生の講演では、さまざまな症例を提示していただき、画像確認のポイントを説明していただきました。CTで得られる情報は非常に多く、それを技師がどのように扱うかにより、画像上で見にくかったり、見えなくなる恐れもあるというのが非常に印象

に残っています。私は画像確認の際、どうしても撮影目的に意識をとられることが多くなっていました。しかし、一つの情報のみにとられず、より広い目を持って確認する必要がある。また、検査で得られる情報をいかに適切に医師へ伝えていかなければいけないか、それを強く感じさせられました。

今回学んだことを明日からの検査に活かして、少しでも患者さまの利益になるような検査をおこなえればと感じております。今回はありがとうございました。



平成29年度城東支部研修会に参加して

東京脳神経センター病院 田川雅人

今回の研修会は、「～アナログシステムからCR、FPDシステムへ～」というサブタイトルです。

近年、現像機で作成されたフィルムで画像診断することは、もはや過去の遺物化の感があり、自分の中でも忘れられた存在になりつつあります。

会場ではフィルム-スクリーン系を使ったことがないであろう、若い人が目立っていることが印象的でした。

講演内容は、「F/Sシステムで、画像に影響を及ぼす要因」からはじまりました。感度や鮮鋭度の異なる増感紙とフィルムの組み合わせによって、画像がいかに変化するか、組み合わせたF/Sシステムがどの部位に適切かなど丁寧に説明していただきました。その後のデジタルシステムについても大変興味深く聞かせていただきました。

ほとんどの施設で、CRやFPDなどデジタル機器が採用されています。デジタル機器装置を使用した一般撮影の照射条件について、自施設においてもそうですが、その設定にあいまい感が付きまとうのは

否めません。しかし、デジタル機器による画質や被ばくについて学ぼうとする方々がいることは、診療放射線技師の将来に希望が持てるように感じました。

これは、人体にエックス線など放射線を照射できる診療放射線技師としての生きる道であり、世間から評価されるように努力すべき事柄と考えます。

デジタル装置になって画質や濃度が自動で最適化されるとはいえ、エックス線画像においては、基本的にはアナログとほぼ同一の考え方で良く、フィルム-スクリーン系という特性曲線はデジタル系というダイナミックレンジ、L値やS値の関係で、エックス線の電圧特性や線量による濃度、粒状性、コントラストもほぼ同一な考え方で最適な画像を作ること等を改めて… いや、気付かされたと思っています。撮影技術としての最適化を見直すきっかけになりました。

今回の研修会で技師会ご担当者各位と富士フィルムメディカル株式会社 大島氏に感謝致します。

ありがとうございました。



城東支部研修会に参加して

三郷中央総合病院 長坂 純

今回初めて東京都診療放射線技師会の開催する勉強会に参加させていただきました。

撮影技術の講演ではなく撮影条件の講演ということで、開始直前でも座れるかなと思っていましたが、予想以上に人が多く席が少しか空いておらず、参加者の関心の高さに驚きました。

講演ではF/Sシステムの基礎から始まり、撮影条件設定と品質管理、デジタルシステムの特徴、線量低減への取り組みと順を追って話しがあったので、流れにそって分かりやすく学ぶことができました。

特に線量上限は被ばく線量の担保、線量下限は画質の担保とデジタルシステムにおける画像形成の考え方を明確にできました。

自施設でもFPDを導入していますが、CRシステムの時から撮影条件の見直しを行っていなかったため、一番の関心どころであった線量低減へ向けての二つのアプローチ（SDやCNR等を用いた画質評価、

ファントムによる視覚評価）はとても参考になりました。

ファントムがないから、やり方が分からないからと敬遠していましたが、できることからチャレンジしていこうと思いました。

また臨床では撮影部位ごとの線量管理として、目標値と管理幅を持ってEIを用いることの重要性を感じました。

一定期間の試験運用の実績値から設定する方法では、現在のデータがあれば簡単にできるということなので利用していきたいと思います。

診療放射線技師の私たちが技術の進歩に任せるだけでなく、知識を深め被ばく線量を適正に管理していくことは必須であると感じました。

今回の研修会が自施設での撮影条件を見直す良いきっかけになったと思います。



平成29年度城東支部研修会に参加して

上尾中央総合病院 茂木大哉

今回、診療放射線技師として読影に必要な画質を担保しつつ、被ばくの少ない撮影条件を決めていく方法について学びたいと思い、城東支部研修会に参加させていただきました。研修会は座学によりメーカーの方から、アナログシステム、デジタルシステムのさまざまな撮影条件や特徴などについて学べ、約一時間半充実した時間を過ごすことができました。

研修会のテーマは「デジタルシステムの撮影条件について ～アナログシステムからCR、FPDシステムへ～」というもので進められていきました。私は診療放射線技師としての経験年数が浅く、今回のような撮影条件を基礎から学べる研修会は、今後の業務にとっても参考となるものになりました。私は入職した時から、デジタルシステムを使用してきました。そのため、フィルム/スクリーンシステムにあまり馴染みはありませんでした。しかし今回その歴史、使用状況、撮影条件の設定などを学ぶことができました。そこからアナログシステムと比較した、デジタルシステムの特徴を聞くことができました。私がいつも撮影している画像に表示されるS値とL値の算出法や、自動濃度調整機能など、詳しく理解できていなかったことを、この研修会で深めること

ができました。また画質の決定要因について、理解しておくことが診療放射線技師の義務と考えられました。そこから撮影条件や、画質、線量低減に対する検討方法や、ポイントなどを説明していただきました。実際のメーカーで行われた実験の算出結果や、それを用いた評価値、結果からの対応関係の考察など、私が今後研究を行っていかうとした際の指針としても、とても参考となりました。実際に当院で使用されている撮影条件や画質、被ばく低減の検討を、今後私も行っていきたいと考えました。

今回の研修会を通じて、私たちがいつも当然のように撮影している画像でも、数多くの処理や、条件による画質の変化などがあることを学ぶことができました。現在私が使用しているデジタルシステムでは、フィルムで撮影していた頃と比べ、撮影条件をあまり考慮しなくても、適切な画像を撮影できるようになっています。しかし私もこの研修会をきっかけに、診療放射線技師として撮影条件決定の要因などを理解し、知識として身につけ、適切な撮影条件を選択できるようにならねばならないと感じました。患者様に対する被ばく線量を管理している診療放射線技師にとって必要不可欠な知識を学ぶことができ、とても有意義で充実した研修会でした。

平成29年度城東支部研修会に参加して

浅草病院 藤井脩平

平成29年7月21日に開催された城東支部研修会に参加させていただきました。「デジタルシステムの撮影条件について」というテーマで、アナログシステムからCR、FPDについてご講演していただきました。

アナログは線量が多いと露光が大きくなり黒すぎる画像、少なすぎると露光が小さくなり白すぎる画像になってしまいます。その点、FPDは原理がアナログと異なり、撮影線量が多少異なっても同程度の濃度になるように画像処理がかかります。これにより安定した濃度で表示されます。そのため、撮影線量は画質を保ち、被ばく線量を抑えた線量にしなければいけません。

FPDはCRに比べてヒストグラムの幅が短いため、

CRと同じ線量で撮影すると飽和して適切な濃度で表示されない現象が起きることがあると分かり再撮を避けるためにも撮影線量には気を付けたいと感じました。

以前まで私はEI値というものは被ばく線量の指標だと思っていました。ですが、EI値は発生装置や撮影室などにより異なり、EI値がいくつであれば最適といったものではありませんでした。物理評価や視覚評価を用いて最適な撮影条件と、基準となるEI値を設定し目標からの偏差によって管理するものだと分かりました。

近年、医療被ばくに対する関心が高まっている中で私たちにできることをしていかなければならないと改めて実感しました。



第78回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会報告

東京都代議員 白木 尚

第78回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が、平成29年6月3日(土)日経ホールにて開催された。東京都診療放射線技師会としては、5月25日に代議員大会を開催し、総会資料を基に東京都としての意見集約を行い総会へと臨んだ。総会へは全国都道府県技師会185人の代議員が参集され、東京都からの代議員は14人で参加した。

当日は、中澤会長より会長あいさつとして3つの話があった。1つ目は、統一講習会について、受講者が集まりにくい会場でも、ニーズがあれば幅広く開催していただきたいこと。2つ目は、診療放射線技師学校養成所指定規則について、臨床実習の単位も含めて合計で102単位として、厚生労働省へ提出する予定であること。3つ目は、教育の在り方について、診療放射線技師学校養成所では四年制大学の割合が多い中、今後、修士などの学位の取得が望まれるとのことであった。続いて厚生労働大臣表彰、日本診療放射線技師会役員らの功労表彰、地区役員らの功労表彰、50年および30年の永年勤続表彰の答申の報告があり授与式が執り行われた。

総会運営委員長より本総会の審議結果の報告があり、出席者数170人、委任状出席者数6人および議決権者数9人、合計185人の出席となり本総会は成立した。総会議長には、中村泰彦代議員(福岡県)および田中宏代議員(埼玉県)が推薦され、満場一致で承認された。午前中に、中澤会長による平成28年度事業報告の総括説明、執行部による事業報告、決算報告並びに監査報告ののち、代議員からの活発な質疑と応答が行われた。

昼の休憩を利用して、ランチョンセミナーとしてJIRA経済部会長の野口氏を講師に迎え、平成30年の診療報酬改定を中心に興味深い講演が行われた。続いて、第33回学術大会(函館)の案内が行われ、多くの参加登録のお願いが呼びかけられた。

午後からは、第一号議案・第二号議案の審議が行われ、代議員からの活発な質疑と応答が行われたのち両議案とも賛成多数で承認された。次年度テーマ「国民と共にチーム医療を推進しよう」の承認のち、定款・諸規程改正に関する第三号議案が説明され、特に質疑等はなく賛成多数で承認された。

全体を通じて、総会代議員からの質疑に対して執行部からの応答が活発に行われ、今後の日本診療放射線技師会の発展に期待できる方向性を垣間見た。これからも診療放射線技師唯一の職能団体である活動を本会としても協働して進めていきたい。

超音波画像研究会 講習会

第14回ワンバイツー講習会 (腹部超音波実技講習会)

日 時：平成29年11月12日（日）8時45分～17時00分（予定）

会 場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）

定 員：12名（定員となり次第受付を終了致します。）

参 加 費：会 員 20,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済である会員）

準会員 25,000円（ホームページ上での入会者、入会金、昼食含む）

非会員 25,000円（入会金、昼食含む）

申し込み：E-mail Uskenkyukai@aol.com 担当 安納

講習会問合せ先：公益財団法人武蔵野健康づくり事業団 放射線 安納

Tel：0422-51-2828 ※16時00分～17時00分（土、日、祝日を除く）

講習会の詳細は超音波画像研究会 ホームページまで

超音波画像研究会 事務局 E-mail us.image.workshop@gmail.com

超音波スクリーニング研修講演会2017五反田

- 会 期：平成29年12月16日（土） 午前9時55分～午後5時
 ※開場・受付開始：午前9時から
- 会 場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）
 ※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
<http://messe.toc.co.jp/access/>
- 参 加 費：5,000円 事前登録不要
- 主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク
- 共 催：日本総合健診医学会／日本消化器がん検診学会
- 後 援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会
 日本臨床衛生検査技師会／日本診療放射線技師会／東京都臨床検査技師会
 東京都診療放射線技師会／神奈川県臨床検査技師会／神奈川県放射線技師会

プログラム

テーマ：超音波所見を極める

時間	第一会場	第二会場
9:55	開会の辞 理事長 桑島 章	
10:00 ～ 10:45	■胆道 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：鳥海 修（関東中央病院）	
11:00 ～ 11:45	■腎臓 講師：関口隆三（東邦大学医療センター大橋病院） 司会：岩下和広（飯田市立病院）	ライブセミナー『肝臓』 講師：若杉 聡（千葉西総合病院） 司会：岩田好隆（東京女子医大東医療センター）
12:15 ～ 13:00	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） 司会：桑島 章（PL 東京健康管理センター）	
13:15 ～ 14:00	■所見のとり方 講師：関根智紀（総合病院 国保旭中央病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）	
14:15 ～ 15:00	■乳腺 講師：何森亜由美（高松平和病院） 司会：高田悦雄（那須赤十字病院）	ライブセミナー『胆道・膵臓』 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：谷田部真由美
15:15 ～ 16:00	■肝臓 講師：森 秀明（杏林大学医学部附属病院） 司会：矢島晴美（東京都予防医学協会）	
16:15 ～ 17:00	■膵臓 講師：小川真広（日本大学病院） 司会：伊藤正範（新宿健診プラザ）	
17:00	閉会の辞 副理事長 岡庭信司	

※超音波検査士更新5点が付与されます。
 ※ランチョンセミナー 昼食（1000食限定）を用意しています。
 ※超音波関連書籍の展示販売を行います。

- 問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク
 E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp
 ホームページ：http://us-screening.kenkyuukai.jp/



研修講演会ご案内QRコード

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成29年度

1. 学術研修会
 - 第20回メディカルマネジメント研修会 平成29年11月16日(木)
 - ☆第16回ウインターセミナー 平成30年1月
2. 生涯教育
 - 第61回きめこまかな生涯教育 平成29年10月28日(土)
 - 第62回きめこまかな生涯教育 平成30年2月
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第73回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年11月14日(火)
 - 第74回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年11月28日(火)
4. 集中講習会
 - 第10回MRI集中講習会 平成30年2月
- ☆5. 支部研修会
 - 城南支部研修会 平成29年10月14日(土)
 - 城北支部研修会 平成29年10月27日(金)
 - 城西・多摩支部研修会
6. 地区研修会
 - 第3地区研修会 平成29年11月29日(水)
 - 第11地区研修会 平成29年12月1日(金)
 - 第8地区研修会 平成30年2月17日(土)
7. 特別委員会研修会
 - 電離箱式サーベイメータ確認校正 平成29年11月19日(日)
 - SR推進委員会研修会 平成30年3月
8. 地球環境保全活動
 - 荒川河川敷清掃活動 平成29年10月29日(日)
 - 日暮里駅前清掃活動
 - 富津海岸清掃活動

関連団体

- 平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」 平成29年10月15日(日)
- 平成29年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年11月11日(土)～12日(日)
- 平成29年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年1月20日(土)～21日(日)
- 平成29年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年3月3日(土)～4日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付
確 認平成 年 月 日
平成 年 月 日 印

Postscript

今年の夏休み、みなさんはどう過ごされましたでしょうか。私はひとつ下の後輩ちゃんと、2泊3日の長崎旅行に行ってきました。この旅行は、「夏休みの予定が全くなーい!! 私も旅行したいー!!」と連日騒いでいた私に、かわいい後輩ちゃんが「私も旅行したいです! 九州行ったことないです!」と優しい一言をかけてくれたことがきっかけです。本人、もしかしたら本気ではなかったかもしれませんが、テンションが上がった私は早速2人の予定を合わせ、後輩ちゃんのために飛行機と宿の予約を取りました(笑)。しかし先輩と旅行をするなんてきっと気疲ればかりしてしまうだろうと、なかば勢いで旅行の予定を立てたことを少し後悔。そのため後輩ちゃんにどうにか旅行を楽しんでもらえるよう、いくつか“ネタ”を仕込んで長崎へと出発しました。

初日は長崎中華街、グラバー園、オランダ坂、眼鏡橋、稲佐山公園展望台など長崎市街の有名な観光地をめぐり、2日目は平和公園を観光後、佐世保に移動して佐世保バーガーをはしごし、2日目の午後と3日目はハウステンボスを楽しみました。事前に食べようと決めていた長崎グルメもこの3日間

ですべて制覇できました。晴れ女の後輩ちゃんのおかげもあって、天気は3日間晴天。大まかな予定だけを立てて観光したので、途中寄り道をしたり、小腹を満たしたり、動物と触れ合ったり、とっても自由で素敵な女子旅となりました。

ここで旅行のために仕込んだ“ネタ”のひとつを紹介します。名付けて「後輩ちゃん大変身」です。普段は妹のような後輩ちゃんを、お化粧ばっちりの綺麗なお姉さん系に雰囲気を変えべく私がプロデュースするというもの。洋服やアクセサリーは私のものを身に着けてもらい、ダンスで培ったメイク技術で後輩ちゃんを大人の女に仕上げました。SNSにアップすると期待通りの反応がたくさん。本人も気に入ってくれたようで、その日はメイクが落ちないようにとても気を使ってくれました(笑)。

充実の3日間。かわいい後輩ちゃんのおかげで寂しい夏を免れました。どうか来年も楽しい夏を過ごせますように!!

Rumba AYN

■ 広告掲載社

コニカミノルタジャパン(株)
東芝メディカルシステムズ(株)
富士フイルムメディカル(株)

東京放射線 第64巻 第9号

平成29年9月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成29年10月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません
電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃

会員動向

平成29年度7・8月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年度末集計	2,077	205	22	16	174
平成29年4月	2,101	31	3	3	7
平成29年5月	2,116	18	3	2	4
平成29年6月	2,142	29	1	1	3
平成29年7月	2,156	14	1	0	1
平成29年8月	2,175	18	3	0	2

**TOSHIBA
MEDICAL**

Aquilion ONE は、Aquilion ONEを超え、生まれ変わる。

新世代320列Area Detector CT

さらに低被ばく、高画質なADCTへ
Genesis of Image Quality

さらに速く、使いやすいADCTへ
Streamlined Workflow

より美しく、洗練されたADCTへ
Patient Centric Design



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
<http://www.toshiba-medical.co.jp>

認証番号: 227ADBZX00178000 東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-305A